

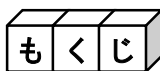
京都あぐい便り



第12号

近畿農政局京都支局
発行:平成30年7月26日

京都府庁旧本館とサルスベリの花



- P1・・・オンライン研修「これから始めるGAP」の開設について
- P2・・・食育活動表彰式について／豪雨による農林水産関係被害への支援対策
- P3・・・現場だより「信頼を築き、次代へつなぐ（農）黒田営農組合」
- P4・・・京都府農業の現状、近畿農政局京都支局からのお知らせ

「オンライン研修「これから始めるGAP」の開設について」

- 農業者の方を初めとする多くの方にGAPについて知っていただくきっかけとなるよう、GAPの基礎を無料で学べるオンライン研修「これから始めるGAP」を開設しました。
- オンライン研修は、解説ページと理解度確認テストで構成されています。GAPについての理解を深めるためにまず解説ページをお読みいただき、その後に理解度確認テストを受けていただく流れになっています。
- 理解度確認テストを修了すれば、修了証をダウンロードすることができ、修了証は環境保全型農業直接支払交付金の支援対象者が提出する、国際水準GAPに関する研修等を受講したことを証明する書類として使うことができます。
- ウェブサイト<http://gap.maff.go.jp>又は農林水産省HPから該当ページにアクセスして始めてみてはいかがでしょうか。

【GAP解説ページ】

【理解度確認テスト】

いずれかのテストを受けて合格すれば修了証が発行されます。



【お問い合わせ先】

近畿農政局生産部技術環境課（電話）075-414-9722

「京都府立桂高等学校 京の伝統野菜を守る研究班」の取り組みが 第2回食育活動表彰式で「消費・安全局長賞」を受賞！

- 平成30年6月23日に J:COM ホルトホール大分で開催されました「第2回 食育活動表彰式」において、京都府立桂高等学校 京の伝統野菜を守る研究班が、教育関係者・事業者部門において「消費・安全局長賞」を受賞されました。
- この「食育活動表彰」は、農林水産省が実施しており、ボランティアや教育活動、農林漁業、食品製造・販売等の事業活動を通じて食育を推進する優れた取組を表彰するものです。
- 京の伝統野菜を守る研究班では、京都の食文化を育んだ京野菜を活用した食育を通して、地域資源である京野菜を後世に引き継ぐ活動を8年間にわたって続けており、こうした取組が評価されて今回の受賞となりました。
- また、歴代の先輩が地域の農家と信頼関係を築き、門外不出の種子を譲り受けて実施された研究班の活動は、食料・農業植物遺伝資源条約加盟国会議で報告され、斬新なコミュニティーシードバンクであると高評価を受けました。



開会式の様子



表彰式の様子



京野菜を使用した病院食
と生徒手作りの京野菜カード



桂高校 京の伝統野菜を守る
研究班の皆さん

【問い合わせ先】

近畿農政局経営・事業支援部地域食品課
(電話) 075-414-9025

平成30年梅雨期における豪雨及び暴風雨による農林水産関係被害への 支援対策について

- 平成30年の梅雨期における豪雨及び暴風雨により、各地域の農林水産業にも大きな被害をもたらし、京都府内においても土砂流入や冠水、ハウスの倒壊など、農林水産業に被害をもたらしました。
- このため、被災された農林漁業者の方々が一日も早く経営再開できるように、総合的な対策を講じることとし、支援対策を農林水産省ホームページに公表しましたので、お知らせします。

URL: http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/bunsyo/saigai/180716_11.html

なお、状況に応じて今後も必要な対策を検討していくこととしています。

- ホームページに掲載されている主な支援メニューは以下のとおりです。
 - ①災害復旧事業等の促進 ②共済金の早期支払等
 - ③災害関連資金の特例措置 ④農業用ハウス等の導入の支援
 - ⑤営農再開に向けた支援
 - ⑥被災農業者の就労機会の確保、被災農業法人等の雇用の維持のための支援
 - ⑦農地・農業用施設の早期復旧等の支援
 - ⑧林野及び水産関係被害に対する支援 など

【お問い合わせ先】 農林水産省大臣官房文書課 (電話) 03-6744-2142

現場だより

信頼を築き、次代へつなぐ

(農)黒田営農組合 理事

木村 裕さん(南丹市)



(農)黒田営農組合は、黒田地区60数軒の内45軒が結集し、平成22年2月に南丹市園部町で一番早く設立された農事組合法人です。

今回、(農)黒田営農組合で理事をされている木村裕さんにお話を伺いました。

現在の経営規模は、約10haの農地に、主食用米のキヌヒカリ、コシヒカリ等、酒米の「祝」、かけ米の「京の輝き」のほか、丹波黒大豆、京都大納言小豆等の栽培に取り組まれています。

今春、農業倉庫を新設し、黒田営農組合の新たな農業の基点となっています。



農業倉庫には、穀物乾燥機のほか、トラクターや田植機ほかの農機具が格納されています。

今年、隣の横田地区と一緒に京都府版人・農地プランである「京力農場プラン」を作成しました。地域農業の中核担い手として、農地の集積や作業受託を進め、効率的な営農の展開を図るとのことです。





京都府農業の現状（6次産業化）

平成28年度の農業生産関連事業¹⁾の事業体数は910事業体、うち農産物直売所が390事業体で43%を占める。
販売金額は177億円、うち農産物直売所が114億円で64%を占める。
また、農業生産関連事業に6,100人が従事。

図1 農業生産関連事業の事業体数（平成28年度）

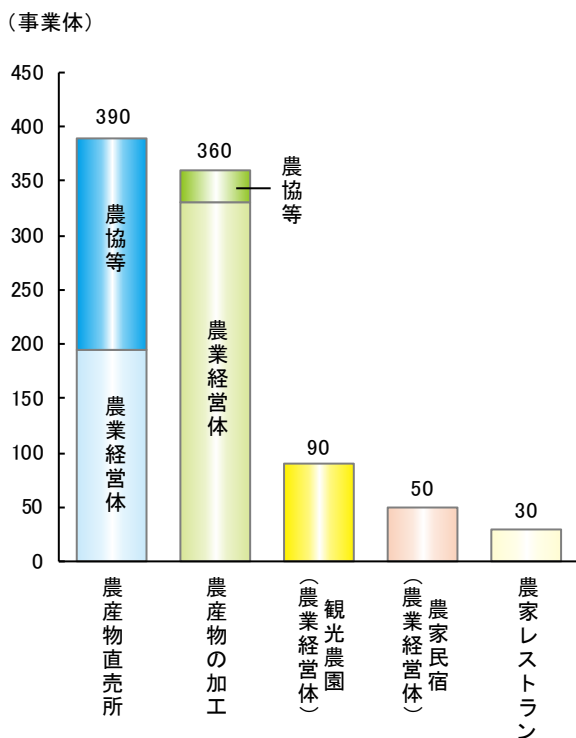


図2 農業生産関連事業の販売金額

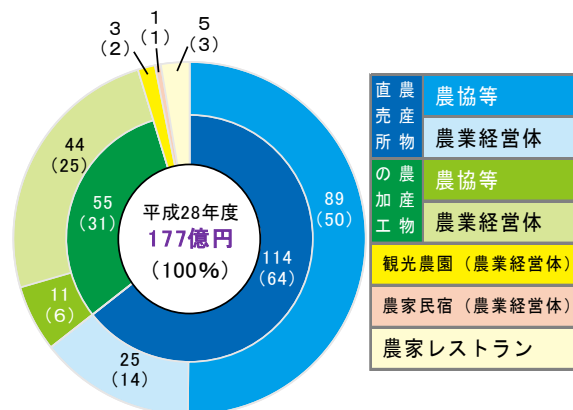
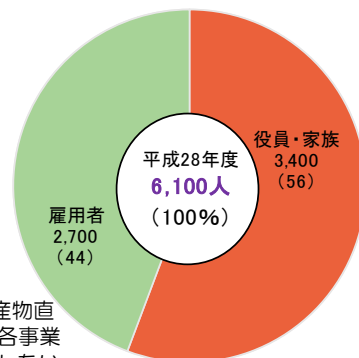


図3 農業生産関連事業の従事者数



資料：6次産業化総合調査（平成28年度）

注：1) 農業生産関連事業とは、農業経営体又は農協等による農産物の加工、農産物直売所及び農家レストラン並びに農業経営体による観光農園及び農家民宿の各事業をいう。ただし、原材料の全てを他から購入して事業を営む場合は、該当しない。
2) 表示単位未満を四捨五入のため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

～近畿農政局京都支局からのお知らせ～

暑中お見舞い申し上げます。

京都府でも連日、猛暑が続いています。気象庁の1ヶ月予報によると、この猛暑は、8月の始め頃まで続くと予想されていますので、屋外の農作業は、高温下での長時間を避け、こまめな水分と塩分の補給や休憩を取るよう心がけていただくなど、熱中症対策を怠らないよう十分な注意が必要です。

また、今後は、西日本も含め全国的に、高温や少雨に伴う干ばつによる農作物の生育への影響が懸念されることから、農林水産省では、「高温・少雨に伴う農作物等の被害防止に向けた技術指導の徹底について」の技術指導通知を各地方農政局に対し発出し、管内の府県に対し、技術指導の徹底を図るよう呼びかけることとしておりますので干ばつ対策、高温対策に心がけていただきますようお願いいたします。

お問い合わせ先：近畿農政局京都支局

〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町

TEL:075-414-9015 FAX:075-414-9057

ホームページ：<http://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/index.html>

